

し ぜんひやくせん 4 かがしま自然百選

かがしまし へいせい ねん がつ し ぜんひやくせん えら
鹿兒島市では、平成 27 年 2 月にかがしま自然百選を選びました。その
なか なる ち いき の こ し ぜん おお えら じ ぶん いえ ちか
中には古くから地域に残る自然が多く選ばれています。自分の家の近くや
こうく ち いき し ぜんひやくせん しら
校区、地域のかがしま自然百選を調べてみましょう。

しら 調べよう

かがしま自然百選はどのような場所でしょうか。かがしま自然百選について調べてみましょう。

(例)

- 昔から地域の人々に親しまれている場所
- 景観がすばらしい場所
- 希少な生き物のすみか
- 文化財として評価された場所 など

よしだ ち いき ほんじょうはな お じんじや じゆりん むれがおかし ぜんゆう ほ どう まきがみ しよ えら
吉田地域では、「本城花尾神社の樹林」、「牟礼岡自然遊歩道と牧神」など6か所が選ばれています。



ほんじょうはな お じんじや じゆりん ○本城花尾神社の樹林

神社は、市の保存樹林のスギ、イチイガシなどの木に囲まれています。庚申仁王石像は市の文化財に指定されています。



むれがおかし ぜんゆう ほ どう まきがみ ○牟礼岡自然遊歩道と牧神

遊歩道では、スギやスダジイなどの中を散歩できます。頂上には、昔から「牧神様」として地域の人々に信仰されている大きな岩などがあります。

かがしま自然百選は、ここで紹介されている場所のほかに、どこが選ばれているでしょうか。「かがしま生きものラボ」の WEB ページなどで調べてみましょう。

こおりやま ち いき 郡山地域では、「八重の棚田」、「郡山花尾神社周辺の森林」など13か所が選ばれています。



や え たなだ ○八重の棚田

やく 240 枚のすいでんが約 12.4ha 続いています。地域の人々が保全活動などを行っており、市の景観形成重点地区にもなっています。県の準絶滅危惧種のアカハライモリなどがいます。



こおりやまはな お じんじやしゅうへん しんりん ○郡山花尾神社周辺の森林

イチイガシやメアサスギなどからなる森林は、市の文化財に指定されています。「薩摩日光」といわれる美しい社殿は県の文化財に指定されています。秋の大祭では、市の文化財に指定されている太鼓踊りが行われます。



こうつきいけ ●甲突池

や え やま ちゆうぶく こうつきいけ こうつきがわ げんりゅう
八重山の中腹にある甲突池は、甲突川の源流になっており、環境省の「平成の名水百選」に選ばれています。池は、明治初期、土地の所有者がつくり、1974年に旧郡山町へ寄贈されました。その後、1984年に一帯が整備されました。その当時、池がどのような状況だったのか、整備した方に話を聞いてみました。



よこせ はなし 横瀬さんの話

池は当時、とても深い沼地だったので、まわりの田んぼにあった石などを敷きつめました。景観を良くしたかったので、池の中心部に小さな島を作り、橋をかけました。現在は、毎年、春に地域の人たちによって豊かな水と自然に感謝する祭りがあります。



よしの ちいき 吉野地域では、^{てらやまし ぜんゆう ほどう}「寺山自然遊歩道」、^{せきよし そすいこう がんどう たき}「関吉の疎水溝と巖洞の滝」など7か所が選ばれています。



^{てらやまし ぜんゆう ほどう}**○寺山自然遊歩道**
^{タブノキ、スダジイ}などの^{しょうようじゆりん ひろ}照葉樹林が広がる遊歩道です。^{ゆき}水が流れる^{はやし}林は、^{やちよう すいせい}野鳥や水生生物の生活場所となっています。また、^{てらやますい}寺山水源地や^{せかいぶんか いざん}世界文化遺産の^{てらやますみがまあと}寺山炭窯跡などがあります。



^{せきよし そすいこう がんどう たき}**○関吉の疎水溝と巖洞の滝**
^{せかいぶんか いざん}世界文化遺産である^{せきよし そすいこう}関吉の疎水溝は、^{しゅうせいがん}集成館事業の^{すいしや まわ どうりやくげん}水車を回す動力源として、^{いなり がわ}稻荷川の上流から^{よしの ちよういそ みず ひ}吉野町磯に水を引き込むためにつくられました。今も^{いま のうぎょう}農業のために使われています。

いしき ちいき 伊敷地域では、^{はな お ことう ちくりん}「花尾古道と竹林」、^{こうつきがわちゆうりゅういき}「甲突川中流域（伊敷脇田・玉江・城西付近）」など10か所が選ばれています。



^{はな お ことう ちくりん}**○花尾古道と竹林**
^{ちくりん そら む}竹林が空に向かって真っすぐにのび、^{やちよう}野鳥の^{こえ き}声が聞こえてくる^{こころち}心地よい場所です。^{こおりやまはな}郡山花尾神社の^{あき}秋の大祭では、^{てんくにしんじや}照国神社から^{はな お ことう}花尾古道を^{とほ}通り^{はな お じんじや}花尾神社まで歩く「^{あり はな お}蟻の花尾もうで」が行われています。



^{こうつきがわちゆうりゅういき}**○甲突川中流域（伊敷脇田・玉江・城西付近）**
^{みず べ くさ}水辺の草には^{ちぎよ さかな こ}稚魚（魚の子ども）や^{なま}ヤマエビ類がかくれています。^{かわ}カワセミや^{アオサギ}アオサギなどの^{やちよう}野鳥も見ることができます。^{とびいし}飛石などが^{せいび}整備され^{しみん}市民の^{いこい}いこいの場になっています。

ちゅうおう ちいき 中央地域では、^{つるまるじょうあと ぼり}「鶴丸城跡堀のハス」、^{いそかいがん}「磯海岸」など14か所が選ばれています。

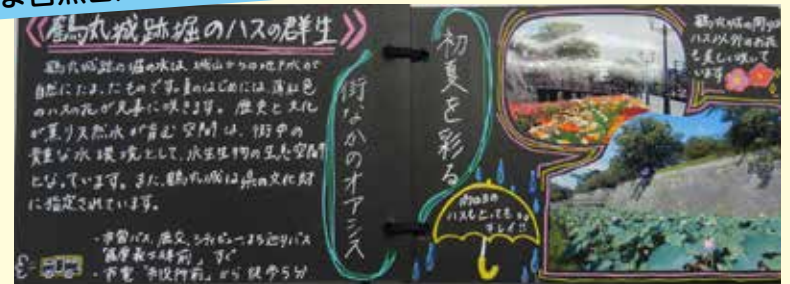


^{つるまるじょうあと ぼり}**○鶴丸城跡堀のハスの群落**
^{つるまるじょうあと ぼり}鶴丸城跡の堀の水は、^{ち か すい}地下水が自然にたまったもので、^{なつ はじ}夏の初めにハスが咲きます。^{し ぜん}トンボ・カエルなど^{すいせいせいぶつ}水生生物の生活場所にもなっています。^{いそかいがん}鶴丸城跡は^{けん ぶん か ざい}県の文化財に指定されています。



^{いそかいがん}**○磯海岸**
^{いそはま すなはま ひろ}磯浜、^{さくらしま め まえ み}砂浜が広がり、^{さくらしま}桜島を目の前に見ながら^{かいすいよくじょう}海水浴場ができる^{かいがん}海岸です。^{へいせい}平成25年には^{ねん}25年ぶりに^{うみがめ}ウミガメが^{さんらん}産卵しました。

し ぜん ひやく せん かがしま自然百選のカードをつくろう



- ^{し ぜん ひやく せん}かがしま自然百選にまずは行ってみましょう。
- ^{しゃしん}写真を撮ったり、^{し ぜん}自然や^{い もの}生き物を観察しましょう。
- ^{しゃしん}カードに写真をはったり、^{かんさつ}観察したことをかきましょう。
^{しら}調べたことなどもかきましょう。

桜島地域では、「昭和溶岩地帯」、「腹五社神社と鎮守の森」など10か所が選ばれています。



○昭和溶岩地帯
1946年の昭和噴火の時に流れてきた溶岩原です。溶岩の上の様子は、コケ類・地衣類→ススキ・イタドリなどの草木→明るい場所と乾燥した土地に育つクロマツ・ヒサカキなどと年月で変化しており、のちには照葉樹林になります。



○腹五社神社と鎮守の森
神社の鳥居は、大正大噴火で上の部分以外が灰でうもれ、埋没鳥居として県の文化財に指定されています。神社の裏は、灰でほとんどの木が枯れた中、生き残ったスダジイの森ができています。

松元地域では、「岩屋観音のある自然洞窟」、「平田の里山」など10か所が選ばれています。



○岩屋観音のある自然洞窟
1751年につくられた岩屋観音は、大きい岩が約20枚重なってできた洞窟の中にあります。洞窟や山頂までの遊歩道では野鳥や虫の声を聞きながら竹林やスギ林を散歩できます。



○平田の里山
二俣川にあるスギ林、クヌギ林や照葉樹林が広がる森林で、市民活動団体が森林を守っています。自然豊かな里山で、季節ごとにいろいろな体験イベントが行われています。

谷山地域では、「永田川中流域（中山真方堰付近）」、「慈眼寺公園と慈眼寺自然遊歩道」など17か所が選ばれています。



○永田川中流域（中山真方堰付近）
中山真方堰付近には、ツルヨシなどが生えている中洲などにカメがすみ、県の準絶滅危惧種になっているセキグロセキレイやヒクイナ、ミサゴなど一年を通して多くの野鳥を見ることができます。



○慈眼寺公園と慈眼寺自然遊歩道
慈眼寺公園内には自然遊歩道があり、イロハモミジやソメイヨシノなど季節の花や照葉樹林、川の音を楽しみながら散歩ができます。また、市民活動団体により定期的に野鳥の観察会が開かれています。

喜入地域では、「旧麓水路の清流」、「千貫平自然公園」など13か所が選ばれています。



○旧麓水路の清流
給黎城の城下町（旧麓）に流れていた水路が今も残っています。1年を通してきれいな水が流れており、まわりのたんぼや地域の人々が野菜を洗うのに使うなど、地域に親しまれています。



○千貫平自然公園
南九州市との境にある公園で、霧島連山、開聞岳、さらには遠く硫黄島、竹島を望む大パノラマが楽しめます。市内ではまとまった面積をもつ草原として、薩摩半島では少ない草原性昆虫類のいる場所です。